

里山子ども園推進事業について ～森と自然を活用した保育・幼児教育の推進～



平成30年1月26日(金)
石川県自然環境課
主事 伊東優香

石川県の取組（里山子ども園推進事業）

里山子ども園推進事業とは

事業の目的

- ・幼少期からの自然とのふれあいの推進
- ・保育士等への自然体験型環境教育の普及定着、スキルアップ
- ・園が環境教育に関心を持つきっかけづくり

事業内容

- ・平成20年度に作成した「もりの保育園モデルプログラム」を活用した、里山の自然体験プログラムを参加園の公募により実施
- ・保育士や幼稚園教諭等を対象とした見学会、研修会も実施
- ・財源は、「いしかわ森林環境基金」を活用

いしかわ森林環境基金事業の概要

- いしかわ森林環境税は、水源のかん養、山地災害の防止など様々な公益的機能を有する森林からすべての県民が恩恵を受けているとの認識に立ち、森林を県民共有の財産として社会全体で守り育て、次の世代に健全な姿で引き継いでいくことを目的に、平成19年度に導入（いしかわ森林環境基金条例の制定（H18.12））

課税方法	県民税均等割の超過課税（均等割額に一定額を上乗せして課税）																				
対象者	<p>【個人】 県内にお住まいの方等（対象：約58万人） ※一定以上の所得のある方</p> <p>【法人】 県内に事務所、事業所を持っている法人等（対象：約3万社）</p>																				
税額	<p>【個人】 年額；500円</p> <p>【法人】 年額；1,000円～40,000円（県民税均等割の税率の5^割相当額）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>資本金等の金額</th> <th>現行均等割の税率</th> <th>5^割相当額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>50億円超</td> <td>年額 800,000円</td> <td>40,000円</td> </tr> <tr> <td>10億円超～ 50億円以下</td> <td>年額 540,000円</td> <td>27,000円</td> </tr> <tr> <td>1億円超～ 10億円以下</td> <td>年額 130,000円</td> <td>6,500円</td> </tr> <tr> <td>1千万円超～ 1億円以下</td> <td>年額 50,000円</td> <td>2,500円</td> </tr> <tr> <td>1千万円以下</td> <td>年額 20,000円</td> <td>1,000円</td> </tr> </tbody> </table>			資本金等の金額	現行均等割の税率	5 ^割 相当額	50億円超	年額 800,000円	40,000円	10億円超～ 50億円以下	年額 540,000円	27,000円	1億円超～ 10億円以下	年額 130,000円	6,500円	1千万円超～ 1億円以下	年額 50,000円	2,500円	1千万円以下	年額 20,000円	1,000円
資本金等の金額	現行均等割の税率	5 ^割 相当額																			
50億円超	年額 800,000円	40,000円																			
10億円超～ 50億円以下	年額 540,000円	27,000円																			
1億円超～ 10億円以下	年額 130,000円	6,500円																			
1千万円超～ 1億円以下	年額 50,000円	2,500円																			
1千万円以下	年額 20,000円	1,000円																			

いしかわ森林環境基金事業の概要

ハード事業

- ・手入れ不足人工林の強度間伐
- ・手入れ不足人工林に侵入した竹の除去

ソフト事業

- ・森づくりに対する理解の増進
 - 県民の理解を増進するための普及広報
 - いしかわ森林環境実感ツアー
 - いしかわ森林環境功労者の表彰
 - いしかわ景観キッズプログラム
 - いしかわの木に親しむ環境づくり推進事業
 - 森づくり活動事例発表会の開催
- ・県民参加の森づくりの推進
 - こども森の恵み推進事業
 - いしかわ森づくり推進月間事業
 - 企業の森づくり推進事業
 - いしかわの身近な森保全事業
 - 森づくりボランティア推進事業
 - 里山子ども園推進事業**
 - いしかわの森整備活動CO₂吸収量認証事業



里山子ども園推進事業の概要

①里山子ども園プログラム(H20～)

- ・「もりの保育園モデルプログラム」を活用した自然体験プログラムの実施



②里山子ども園見学会(H22～)

- ・里山子ども園プログラムと同時に開催
- ・実際のプログラムを見学し、園独自の自然体験活動に活かしてもらう

③里山子ども園研修会(H28～)


- ・インストラクターを講師に迎え、プログラムの作成方法やねらいを学ぶ



①里山子ども園プログラムについて

- ・もりの保育園モデルプログラムを活用した自然体験プログラムの実施
- ・参加園は公募で決定(H21～)
- ・委託先:しぜん倶楽部
- ・年間37回実施

年間スケジュール

4月	委託団体との打合せ・契約、公募開始(2週間程度)		
5月	委託団体との打合せ、実施園決定		
6月			
7月			
8月			
9月			
10月	里山子ども園プログラム実施 (年間37回)		
11月			
12月			
1月			
2月	委託業務結果報告、来年度の打合せ等		
3月			

・里山子ども園プログラム実施状況

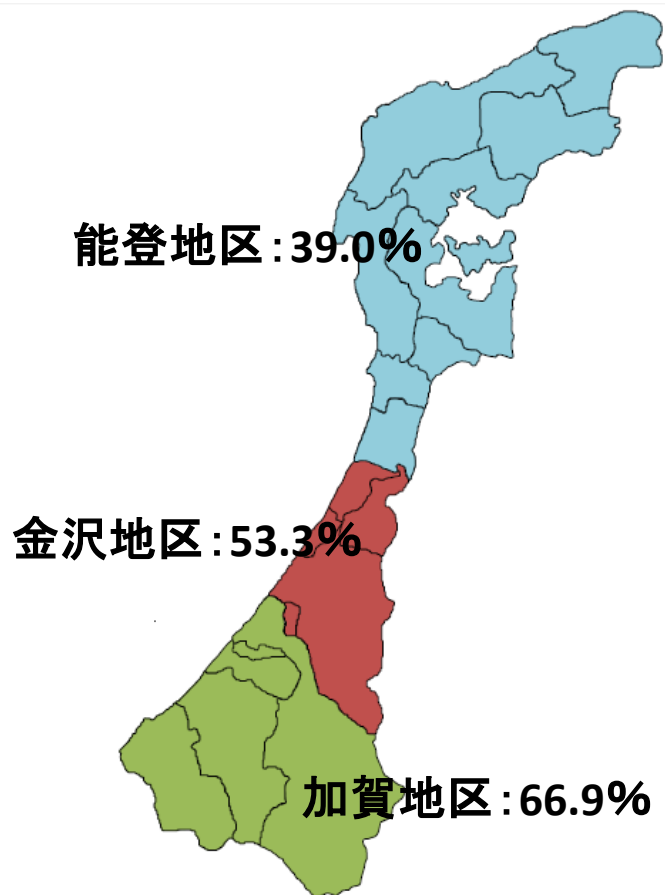
年度	実施回数	実施園数 (累計)	応募園数 (累計)	参加 児童数
H20※	5回	1園	-	190人
H21	10回	10園	29園	348人
H22	24回	24園	47園	699人
H23	23回	22園	58園	673人
H24	40回	32園	52園	1,117人
H25	40回	38園	74園	1,045人
H26	40回	37園	77園	1,055人
H27	40回	38園	83園	1,069人
H28	38回	33園	103園	1,023人
H29(見込)	37回	34園	85園	959人
計(H21~H29)	292回	268園	608園	7,988人

※H20年度はモデルプログラム作成のため1園が5回実施
H21年度以降は公募で実施

応募多数の場合は未実施園を優先して選定

・地区別実施率

	保育園・幼稚園①	H21～H29(見込)実施園数(実数)②	実施率(②/①)	(参考)昨年度までの実施園数及び実施率	
金沢地区	167園	89園	53.3%	85園	50.9%
加賀地区	118園	79園	66.9%	62園	52.5%
能登地区	82園	32園	39.0%	27園	32.9%
	367園	200園	54.5%	174園	47.4%



- ・県内半数以上の園がプログラムを体験
- ・地区別で実施率に差がある
 - 能登地区で実施率が低い
 - 能登地区での実施回数が少ない
 - 能登地区の園からの応募数が少ない

・里山子ども園プログラム例

	内容	ねらい
1. 森に挨拶	活動を行う森に向かい、「こんにちは」「おじゃまします」等の挨拶をして、森の返事を聞く	自然の音に耳を傾ける
2. 危険予知	ヘビやハチが出たときの対応を学ぶ	危険予知と対応を学ぶ
3. 同じもの探し	インストラクターが提示したもの(葉や木の実など)と同じものを周辺から探す	森の中で色々なものを見つける練習
4. 絵本	芝生に座り、絵本の読み聞かせを行う	森歩きへの導入
5. 森歩き	グループごとに森を歩き、森の自然物や自然現象を五感を使って体験	森の自然に触れる
6. ふりかえり	グループごとに見つけたものを発表し、他のグループと分かち合う	思いの共有
7. 森に挨拶	森に向かい挨拶をして、森の返事を聞く	自然に対して感謝する気持ちを養う 自然の音に耳を傾ける

※季節や天気に合わせてプログラムをインストラクターが考案

②里山子ども園見学会について

- ・保育士、幼稚園教諭等を対象とした見学会を、里山子ども園プログラムと同時に実施
- ・プログラム終了後に意見交換等を実施

③里山子ども園研修会について

- ・保育士、幼稚園教諭等を対象とした研修会を実施
- ・里山子ども園プログラムの目的や、プログラム実施方法等の研修を行う
- ・年間3回実施

里山子ども園見学会・研修会実績

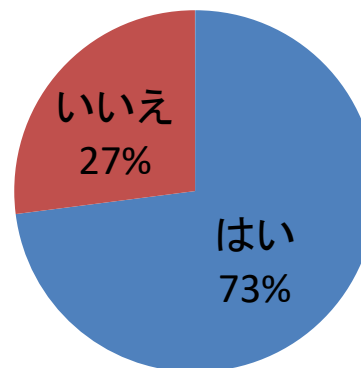
年度	見学会参加者数	研修会参加者数
H22	25人	—
H23	24人	—
H24	13人	—
H25	27人	—
H26	20人	—
H27	24人	—
H28	20人	36人
H29(見込)	26人	25人
計	179人	61人

里山子ども園推進事業実施の成果

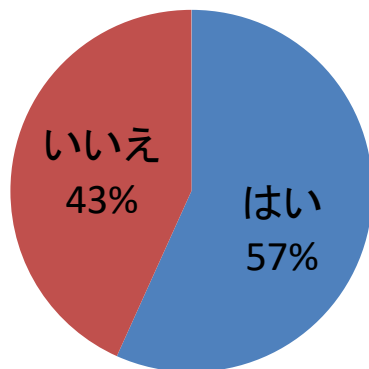
過去参加園に対し、アンケートを実施（H27年度）

- ・対象園：128園
- ・有効回答園：74園
- ・回答率58%

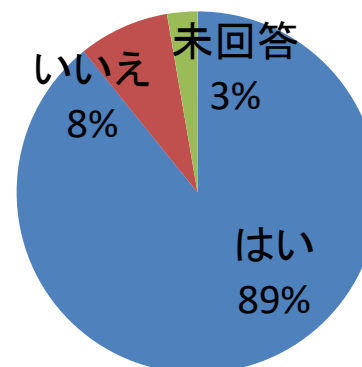
昨年度、園独自で里山等に出かけ、自然環境教育を実施しましたか



保育士及び幼稚園教諭が独自にスキルアップのための活動をしましたか



本事業の内容を普段の園の活動（日常の散歩等）で活用したものはありますか

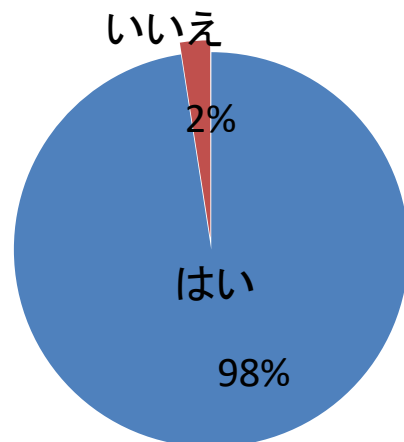


里山子ども園推進事業実施の成果

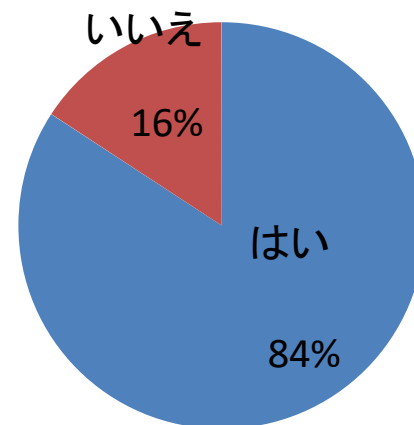
H29年度実施園に対し、アンケートを実施

対象園：31園

今回の自然体験活動で、
環境教育に(更に)興味を持ちましたか？



今後、園独自でこのような自然体験活動
を実施したいと思いますか？



主な意見

- ・園児が自然物に対し、関心を持つようになった
- ・散歩等で見つけたものを図鑑を用いて調べるようになった
- ・日頃の園外保育で取り入れられるプログラムを実践しようと思った
- ・自然に対する知識や、蜂やクマ等がでた場合の対応に自信がない



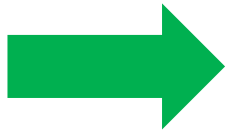
概ね好評だが、園独自の活動につなげるためには
工夫が必要

まとめと今後の課題

- ・H20年度から事業を開始し、毎年多くの園から応募がある。
- ・アンケート結果から、里山子ども園プログラムを体験した園児は、自然物に興味を持つようになったなどの変化が見られる。
- ・日常の保育に本事業の内容を取り入れる園もある。

一方で

- ・応募園が多く、全ての希望に応えられない。
- ・園独自の自然環境教育につなげるためには、自然に対する知識やハチ、ヘビ等への対策に不安を感じる保育士、幼稚園教諭もいる。



- ・里山子ども園プログラム実施回数拡充の検討
- ・里山子ども園研修会の普及に取り組む